

## 大日本スクリーン製造株式会社

### 「ケセルマイケル使用許諾契約書」(製品版、体験版共通)

本契約は大日本スクリーン製造株式会社(以下、「スクリーン」といいます)と、スクリーンが開発したソフトウェア「ケセルマイケル」(以下、「本ソフトウェア」といいます)を使用するお客様(以下、「お客様」といいます)との間に締結されるものです。

お客様がご使用するにあたっての重要事項が記載されておりますので、必ずお読みください。  
本ソフトウェアのインストールを実行することで、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約の条件にご同意いただけない場合は、本ソフトウェアのインストールは行わないでください。

#### 〈重 要〉

1. インストールの制限
2. 著作物の改変
3. アクティベーション作業

#### 1. 使用上の制限

- (1) 本ソフトウェアの製品版は、お客様がアクティベーションされた際のパーソナルコンピュータと同一の機器構成のみで使用可能となります。パーソナルコンピュータの機器構成を変更された場合は、ご使用できません。ただし、ハードディスクは、変更可能です。
- (2) 本ソフトウェアは、サーバーや仮想 OS 環境ではご使用いただけません。

#### 2. 著作物の改変

本ソフトウェアは、その性質上、ある著作物(以下、「原著作物」といいます)の複製および改変を不可避免に行ないます。従って、お客様自らが原著作物の著作者ではない場合、お客様には本ソフトウェアのご使用に際して法律によって原著作物の著作者から適正な原著作物利用の許諾を受けることが求められます。お客様が原著作物に対する適正な利用許諾を得ずに、本ソフトウェアを使用して原著作物を複製または改変したことによる一切の責任はお客様に帰すべきものであり、かかるお客様の行為についてスクリーンは直接的にも、間接的にも何らの責任を負いません。

#### 3. アクティベーション作業

インストール時に、本ソフトウェアのライセンスキーを入力された場合は、その後 30 日間は、製品版としてご使用いただけます。30 日を越えて本ソフトウェアの製品版をご使用いただく場合は、スクリーンがインターネット上に設置するアクティベーションサーバー上でアクティベーション作業を実施していただく必要があります。本ソフトウェア起動時にアクティベーションを促すダイアログボックスから、アクティベーション作業を実施してください。アクティベーション作業を実施していただけない場合は、30 日経過後は、本ソフトウェアは、体験版と同じ機能になります。体験版は、試用期間の制限はありませんが、データの保存を行うことができません。

ソフトウェア起動時にアクティベーションを促すダイアログボックスが表示されますので、そ

ちからからアクティベーション作業を実施してください。

## 〈契 約 条 項〉

### 第1条（本ソフトウェアの構成）

本ソフトウェアは、次のもので構成されます。

- ・ダスト診断除去ツール「ケセルマイケル」
- ・ユーザーズマニュアル（PDF）

### 第2条（権利の帰属）

1. 本ソフトウェアに関する著作権、特許権、商標権、ノウハウおよびその他すべての知的財産権は、スクリーンに帰属するものであり、著作権法はもとより、その他の知的財産に関する法律および条約により保護されています。
2. 本ソフトウェアと、本ソフトウェアの構造、編成、およびコードにはスクリーンが保有する営業秘密が含まれており、不正競争防止法により保護されています。
3. お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本ソフトウェアに関する著作権、特許権、商標権、ノウハウ等の知的財産権の譲渡を意味するものではありません。
4. スクリーンは、将来において本ソフトウェアの修正、改変、改良、その他変更を任意に行うことができるものとします。

### 第3条（使用許諾）

1. スクリーンは、お客様に対し日本国における非独占的な次の権利を付与します。
  - （1）本ソフトウェアを特定のパーソナルコンピュータ1台にインストールし、本契約書の条項に則って使用する権利
  - （2）本ソフトウェアのユーザーズマニュアルを、前号の許諾事項のために使用する権利
2. お客様が前項1号により使用いただけるコンピュータは、お客様がアクティベーションを行ったパーソナルコンピュータと同一の機器構成であるコンピュータに限られます。なお、ハードディスクについては、変更が可能です。

### 第4条（使用制限および禁止事項）

お客様は以下のいずれも行ふ権利を有しておらず、また、第三者に行わせてはならないものとします。

- （1）本ソフトウェアを2台以上のコンピュータにインストールすること
- （2）本ソフトウェアをサーバーや仮想OS環境にインストールすること
- （3）本ソフトウェアに改変、改造、その他の変更をくわえること
- （4）リバース・エンジニアリング、ディスアセンブル、デコンパイル、その他の手段により本ソフトウェアの解析を行うこと
- （5）本ソフトウェアに関する特許権、著作権その他の権利帰属表示を取り外し、判読不能にし、または変更すること
- （6）著作権法上認められる範囲を超えて、本ソフトウェアを複製すること
- （7）本ソフトウェアの使用に必要なライセンスキーを、本契約で使用を許諾されていない第三者に譲渡、貸与、その他の行為により利用可能な状態にすること。

### 第5条 譲渡の禁止

お客様は、本ソフトウェアに関しスクリーンから許諾を受けた権利を賃貸、リース、販売、サブライセンス、譲渡もしくは移転させることはできません。

#### **第6条（ソフトウェアの保証）**

1. スクリーンは、本ソフトウェアについては明示的、黙示的を問わずいかなる保証も行うものではなく、本ソフトウェアの動作や、本ソフトウェアの使用により得られる結果および特定の目的に対する適合性ならびに本ソフトウェアの使用における第三者の権利非侵害について保証いたしません。スクリーンがお客様より損害発生の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても同様とします。
2. スクリーンは本ソフトウェアに関する瑕疵担保責任を負わないものとします。
3. スクリーンの従業員または販売店が行った口頭または書面による情報提供や助言は、本ソフトウェアについての保証を生じさせるものではなく、お客様は、このような情報や助言を根拠にスクリーンに対して保証を求めることはできません。

#### **第7条（責任の制限）**

1. スクリーンがお客様に対し本ソフトウェアに関連して金銭的責任を負うこととなった場合の総額は、いかなる場合であっても、お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けるためにスクリーンに支払った金額を上限とします。
2. スクリーンは、お客様からの本ソフトウェアの製品版の使用方法、機能に関する問い合わせへの回答および、お客様からの本ソフトウェアに起因する問題や現象に関するお問い合わせへの対応を対応 WEB サイトのみで受け付けます。電話、FAX 電子メール、その他の方法では一切受け付けを行いません。スクリーンがお客様に提供する回答および対応に関しては、スクリーンが適当であると信じる範囲に限定されるものとし、明示的にも黙示的にも何らの保証の対象とはなりません。なお、対応 WEB サイトが行った回答および対応についても、前項の責任の制限が適用されるものとします。

#### **第8条（マイナーバージョンアップ）**

スクリーンは、本ソフトウェアのバグを修正するためになされるバージョンアップ（以下、「マイナーバージョンアップ」）をお客様に無償で提供することがあります。このマイナーバージョンアップには、本使用許諾契約書の内容が適用されます。なお、マイナーバージョンアップはスクリーンの裁量によってなされるものであり、提供の時期、頻度、内容等については、スクリーンが自由に決定することができます。

#### **第9条（使用権の消滅）**

1. お客様が本契約の条件を遵守されない場合、スクリーンはお客様に対して、相当期間内にその是正を求めるものとし、お客様が是正を行わないときは、スクリーンは本契約を解約することができます。
2. 前項に基づく本契約の解約により、お客様の本ソフトウェアの使用権は消滅するものとします。この場合は、お客様は直ちに本ソフトウェアの使用を中止し、第1条に記載する本ソフトウェアのパッケージ内容および本契約により作成を許諾された本ソフトウェアのバックアップ用コピーを全て廃棄するものとします。製品版の場合は、お客様が購入の際に入手したライセンスキーもスクリーンへ返却するものとします。また、本ソフトウェアがインストールされ

たパーソナルコンピュータから、本ソフトウェアをアンインストールするものとします。本項の履行に係る費用はお客様が負担するものとします。以後お客様は、本ソフトウェアに関するなんらの権利を有さないものとします。

3. 前第1項の規定により本契約が解約された場合、スクリーンはお客様が既に支払い済みである本ソフトウェアの使用料を返金いたしません。

4. スクリーンが提供するライセンスキーを紛失した場合（盗難による場合を含みます）、お客様は本ソフトウェアの使用権も喪失したものとみなされます。スクリーンは、紛失または盗難を理由としたライセンスキーの再発行には応じられません。これらの場合には、お客様は新たに本ソフトウェアの使用権をご購入いただくことになります。

## 第10条（一般条項）

1. 本契約は、本ソフトウェアの使用許諾に関する唯一の契約であり、本契約の締結以前にお客様とスクリーンの間になされた全ての暫定的合意や取り決めに優先します。

2. 本ソフトウェアが、米国政府機関に提供される場合、本ソフトウェアは以下のような制限的表示を伴うことを条件とします。「本ソフトウェアは、制限を受ける商業的コンピュータソフトウェアに該当します。使用、複製、または米国政府機関による開示は、DFARS 252. 227-7013、FAR52. 227-17 III (g) (3) に規定されている「技術情報およびコンピュータソフトウェアの権利」条項の(C) (1) (ii) 項に定められる制限に、または 48 CFR 52. 227-19 に設定されている「商業コンピュータソフトウェア」の(c) (1) ならびに(2)、およびそれらを承継する条文に該当します。契約者/製造者は、日本国京都府京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町一番地の一、大日本スクリーン製造株式会社です。

3. 本ソフトウェアの輸出は、お客様の責任によって行われるものとします。お客様が本ソフトウェアを輸出する場合は、該当する輸出管理法令および規則を遵守するものとします。なお、本ソフトウェアを輸出した場合であっても、お客様、輸入者および輸入者からの譲受人は第4条の定めにより本ソフトウェアを日本国外で使用することはできません。

4. 本契約は、日本法に準拠するものとします。お客様は、本契約に関する紛争の解決については、京都地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とすることに同意します。

以下余白